



復興庁

Reconstruction Agency

つちおと

第57号

平成29年10月27日発行

宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5

気仙沼市シルバー人材センター内

10/17(火)

～ 宮城県気仙沼合同庁舎 開庁！ ～

10月17日、宮城県気仙沼合同庁舎の開庁記念式典が行われました。新庁舎は気仙沼・本吉圏域の中核防災機能を果たすため、被災した旧気仙沼合同庁舎と旧南三陸合同庁舎を併せ、気仙沼市赤岩杉ノ沢地内に移転建て替えられたもので、ユニバーサルデザインに配慮し、高齢者や障害者の利用にも工夫を凝らした建物となっています。

式典の中で村井宮城県知事は、「気仙沼本吉圏域の豊かな地域づくりを支援する施設として役割を果たす施設としたい。」と挨拶し、中島宮城県議会議員、菅原気仙沼市長の祝辞を受けたのち、玄関前でテープカットが行われました。



所在地：気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6

敷地面積：23,696㎡

庁舎棟：鉄骨造5階建1棟

延床面積：6,794㎡

駐車場：223台

入所機関：気仙沼県税事務所・気仙沼地方振興事務所・気仙沼土木事務所・気仙沼教育事務所

工事費：約34億円

10/22(日)

～ 新気仙沼市立病院 開院！ ～

10月22日、新気仙沼市立病院の落成式典が行われました。式典では、復興大臣をはじめとした祝辞が読み上げられ、テープカットが行われました。また用地提供者や備品を寄付した方などに感謝状が贈られました。

赤岩杉ノ沢の高台に建てられ、地上6階地下1階の免震構造の建物です。診療科は18、病床数は340床。地上にはヘリポート、地下には看護専門学校が付属しています。外来診療は11月2日からです。



～ 進む震災復興【三陸沿岸道路 本吉気仙沼道路(Ⅰ期)】 ～

三陸沿岸道路は仙台港北ICから八戸JCTまで(延長約359km)の自動車専用道路で、東日本大震災後の平成23年11月に全線事業化されました。本吉気仙沼道路(Ⅰ期)は気仙沼地域に計画されている三陸沿岸道路の1区間(延長約7.1km)を構成しており、大谷海岸付近を起点とし、花の道気仙沼パーキングエリア付近を終点としています。東日本大震災時、当該区間の国道45号は約6割が浸水しましたが、本吉気仙沼道路のルートは津波浸水区域を回避していることから、大規模災害時でも緊急輸送路が確保され、支援物資の輸送が可能となります。また、菖蒲沢付近には北側方向のみのハーフICも計画されており、観光面での地域活性化も期待されています。

主な構造物としては橋梁2基の他、三陸沿岸道路を横断するボックスカルバート26基が計画されています。多くの復興事業が錯綜していることから、コンクリート構造物は極力工場製品化を図り、工期短縮とコンクリートプラントへの負荷軽減を図っています。

工事は土工事が中心であり様々な地質が存在しました。硬い地質の箇所では発破掘削も行っています。しかし住宅が近傍に位置するところでは、作業効率は落ちますが、機械掘削にて騒音・振動に対する配慮をしています。一方で粘性土が主体の地質もあり、盛土の施工管理が大変な箇所もありました。

発生した土は、大谷海岸の背後地盛土等にも使用される予定となっており、土の供給を行っています。大谷地区のまちづくりにも一役買っているようです。

現在3つのIC名について地元の意見も踏まえ標識適正化委員会で検討中です。



工事は平成29年度内の開通を目指し、九州地方整備局から応援にきて頂いている建設監督官のもと進められています。

苦勞した点をお聞きました。『長期にわたる工事であり、その間各種基準等の見直しがあった。現場は最後の砦であり、それら変更対応等に苦勞した。』とのことをお話を頂きました。

遠く九州地方より、気仙沼地域の復興にご尽力頂きありがとうございます。



～ 応援職員だより【事業用地の確保に奮闘】 ～

私は現在、復旧・復興事業に欠かせない事業用地の取得を引き受ける気仙沼市役所の用地課に派遣されています。

課内では主に①嘱託登記手続きに関するアドバイス、②事業用地の相続人調査、③処理困難案件に関する対応、を行っています。

③について、連日新聞紙面を賑わせている「所有者不明土地」の問題が被災地でも生じており、用地取得が困難な事案も多く、復旧・復興事業の妨げにもなっています。特に相続登記が行われておらず、先代・先々代の名義のまま放置されている用地もあり、相続人関係者が100名を超える事業用地も少なくありません。

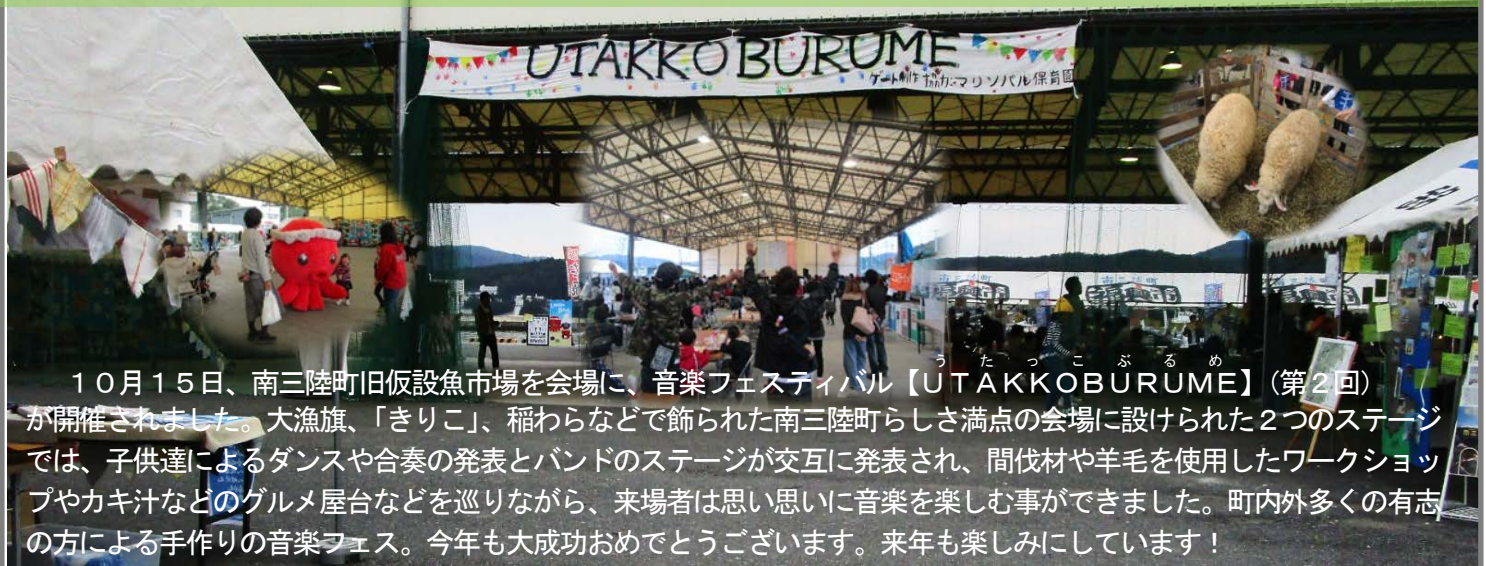
その中でも、取得困難な用地を様々な法制度を駆使して取得し、地域が抱えていた問題も解決する方向へ導くことができた事案もあります。少しずつですが復旧・復興は進んでいると感じています。



応援職員の筧原徹也さん(気仙沼市用地課勤務、神戸市出身。小学1年生のとき阪神大震災を経験)。平成28年6月から復興庁の復興支援専門員(司法書士)として勤務しています。

10/15日

～ うたっこぶるめ2017開催！ ～



10月15日、南三陸町旧仮設魚市場を会場に、音楽フェスティバル【UTAKKOBURUME】(第2回)が開催されました。大漁旗、「きりこ」、稲わらなどで飾られた南三陸町らしさ満点の会場に設けられた2つのステージでは、子供達によるダンスや合奏の発表とバンドのステージが交互に発表され、間伐材や羊毛を使用したワークショップやカキ汁などのグルメ屋台などを巡りながら、来場者は思い思いに音楽を楽しむ事ができました。町内外多くの有志の方による手作りの音楽フェス。今年も大成功おめでとうございます。来年も楽しみにしています！

10/13金

～ 「復興・創生インターン」企業同士の振り返り会！ ～



10月13日、インターン受入企業と今後受入を予定している企業が一同に会しての「復興・創生インターン(夏期)」の振り返り会が行われました。

受入企業からはインターンを受入れての所感や課題について報告があり、それを受けて、受入予定の企業からは課題解決方法についての質問が出されるなど活発な意見交換が行われました。

被災企業の受入態勢の向上や企業自身の成長を助長することを目的とした「復興・創生インターン」が来春に向け早くも動き始めています。

9/25月

～ 子ども宇宙科学教室 in 気仙沼市階上地区！ ～

9月25日、みやぎ連携復興センターが復興庁の被災者支援コーディネート事業で支援を行っている「子ども宇宙科学教室」が階上小学校学童センターの児童37人を対象に実施されました。

東北大学院生の講師から「宇宙」とは？の質問に、好奇心旺盛な子どもたちは元気に答え、宇宙が真空であることの説明には真剣に耳を傾けていました。その後、ガラス容器を使って真空状態をつくる実験を行い、メインの「傘袋ロケット」をつくりました。

校庭でのロケット飛ばしでは、最初なかなか飛ばず苦労していましたが、コツをつかむと遠くまで飛んで歓声が上がっていました。

「傘袋ロケット」は細長いビニール袋、紙コップ、画用紙を使って簡単に作れます。



復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【11月12日（日）】第32回 リアス牡蠣まつり唐桑【気仙沼市】

唐桑最大のイベントがやってきます！牡蠣をはじめとした海産物とその料理、その他地場産品が販売されます。郷土芸能も楽しめますよ。焼きたての牡蠣の炭火焼きが振る舞われますのでお早目に。気仙沼市唐桑小学校校庭にて、10時から。

【11月26日（日）】志津川湾鮭・いくらまつり復興市【南三陸町】

4年前に南三陸町で孵化した鮭が、大きくなって帰ってきました。夏の銀鮭も有名ですが、やはり秋鮭！11月の復興市では一本売りをはじめ、鮭やいくらの料理を提供する出店が並びます。志津川仮設魚市場にて、9時から13時半ごろまで。

◆支所長コラム

10月に入り一気に寒さも増し、秋も本格的になってきたなあと感じていたところ、台風21号が10月23日に上陸しました。観測史上3番目に遅い上陸らしく、季節はずれの台風で大変だったと思いますが、気仙沼市&南三陸町管内では大きな被害もなく一安心です■また、台風の影響を受けた22日には『気仙沼産業まつり』『気仙沼市立病院落成式』『各種選挙』等が雨の中開催されました。台風対応と併せ皆さん一日中お疲れ様でした■さて今月、復興庁では市町より第19回の復興交付金事業計画の提出を受けたところです。今後、各種審査会や協議等を経て、12月上旬に交付通知がなされる予定です■これから寒さも厳しくなってきました。早くもインフルエンザ流行の兆しがあるので、皆さん体調管理に気をつけて頑張ってください！！（吉）

【編集後記】

◆食欲の秋、美味しいものは多いですが、炭水化物を減らして運動し、今年はスポーツの秋で行こうと思います。

気仙沼市 八瀬地区



気仙沼支所の

今月のベストショット

Best★Shot

大正11年に建てられたこの旧月立小学校校舎は、当時の学校建築としては典型的な形だよ。今では国の有形文化財（建造物）として登録されているよ。



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>